

# 家業か自分のなりたい職業か迷ったとき

## 中1 保護者（保育園経営・薬剤師）

答えは簡単。自分の就きたい職業をまず目指そう〜。

私が生まれた家は母親が幼稚園を経営していました。小学4年生まで自宅は幼稚園の敷地の中にあり、沢山の園児や教職員と一緒に生活環境がありました。中学1年時には母親が社会福祉法人の保育所を設立。中学・高校と自分の就きたい職業を考えながらも家業は継ぐものとの2つの思いがありました。

皆さんの中にもご両親が何かを営んでいるケースは割とあると思います。会社や商店であったり様々でしょう。私からアドバイス。中学・高校生の皆さんは自分の就きたい職業をまず目指して下さい。私の場合は薬剤師でした。



子どもの頃から「理科」「生き物」「実験」が好きで高校時代は「生物研究部」に所属し、医師を目指すものと考えていましたが、「数学」の力不足もあり、あっさりと医学部をあきらめ薬剤師になることに。しかし最初に就職したのは医療器械輸入商社。管理薬剤師とは名ばかりの営業ウーマンでした。その会社では在宅酸素療法をされている多くの患者さんとの出会いがありました。

### 26才の転機

つまり結婚による転機。理事長をしていた祖父が亡くなったこともあって保育園の仕事に就くことになりました。しかもいきなり管理する立場になりました。「Navi」執筆者の多くは男性です。女性は結婚・出産しても自身の職業を続けていけるのか、これはとても大きな問題ですね。保育園の園長になって20数年、地域家庭の支援、子育て支援に携わってきました。定員の拡大や分園設置、看護師・栄養士の配置等地域のニーズに対応するべく頑張りました。給食部門では知事表彰、園児の造形部門では文部科学大臣表彰、去年の文化の日には地域貢献を評価され市長表彰も受けました。一人の力は小さくても、組織の力がとても大切だということを学びました。

### 子どもとは、子育てとは、人の力とは

中学・高校生の皆さんは、将来の子育てを考えている人はまだいないでしょう。就学前はもちろん1歳2歳の小さな子どもでもクラスの中や家庭で自分の役割があって、周囲から認められると喜々とした表情をし、行動します。職員間のチームワークも同じだと思います。これを福祉施設ではマンパワーと呼びます。

### 保育士という仕事

6年前に国家資格になりました。希望する生徒さんがいるかどうかわかりませんが、子どもが好きなら良い職業でしょう。好きで保育を楽しめる人ならチームワークをとることは容易です。資格があれば子育てをしながらも続けられます。育児相談員の資格等も取得すると地域家庭への貢献度も増します。保育士の感性は、子どもの感覚や情緒を育みます。常にあらゆるものへの感性を研ぎ澄ます努力はもちろん必要ですが。

### 45才の職業体験

公立中学の2年生では職業体験があり毎年沢山の生徒が保育園に来ます。彼らはそれぞれの胸の中に感想を詰め込んで帰宅する訳です。私は知り合いの薬局で職業体験を行う機会に恵まれました。自分の作った水薬がはじめて患者さんに渡され

た時の感動は忘れられません。資格を持ち社会に出たい人には、はっきりしている職業だと思えます。薬剤師は知識を求められる職業であることは言うまでもありません。勉強は常に必要です。私の薬剤師としての仕事はほんのわずかなので、ここで仕事の大切さや面白さを語るのは控えておきます。しかし投薬時には多くの患者さんと出会いますが、何を望んでおられるかいち早く知る能力は不可欠だと思います。もし私に家業の選択肢がなくかつ20才若返ることができるなら病棟配置の専門薬剤師になる目標を持ちたいと思っています。専門薬剤師とはある特定の分野に特化した薬剤師のことです。肺がんで両親を亡くした私は、がん治療薬の知識や経験に特化した薬剤師が各病棟に配置されるようになることを望みます。次世代に夢を託したい。

大学を卒業して25年間働きましたが、医療器械商社、保育所、調剤薬局の仕事で出会った人との交流すべてが私を育ててくれたと思います。振り返ってみてわかったことは、年齢や経験とともに自分の能力や考え方は変容していったということです。

最後に職業（志望校）の選択は自由にさせてくれた天国の両親に感謝したい。

